

三重県多気郡明和町

羽毛素材のトップメーカーとして業界を牽引 高度な精製技術により高品質な羽毛を提供

1891年に羽毛商として創業。羽毛素材のトップメーカーとして世界の羽毛マーケットと国内の羽毛業界を牽引している。国内初のスキー用、タウンユース用「ダウンウェア」の生産や羽毛ふとんの生産に取組み、国内需要を開拓してきた。1991年には世界最大の全自動羽毛精製ラインを整備。羽毛に付着したアカやホコリなどの付着物を徹底的に取除き、高品質で清潔な羽毛を精製している。

●所在地	三重県多気郡明和町大字山大淀3255番地	●設立	1963年
●電話/FAX	0596-55-2431/0596-55-4156	●資本金	4,320万円
●URL	https://kwd.jp/	●従業員数	43人
●代表者	代表取締役 河田 敏勝		



特殊加工により羽毛の機能性を高め、付加価値を向上

同社の高度な技術により精製された羽毛は、特殊加工が容易となる。遠赤外線加工や抗菌防臭加工、防炎加工、撥水加工等の機能を付加することができる。また、独自の特許技術により羽毛と多機能繊維ファイバーを融合させ、立体的な製品形状の維持を可能とする。羽毛製品の機能性を高め、付加価値向上につなげている。さらに、同社の技術は海外から輸入する新毛の処理だけでなく、国内で回収した羽毛のリサイクルにも対応可能。安定的に良質な原材料を確保しつつ、様々なニーズに応じた機能性の高い製品を供給している。



精製された高品質な羽毛

清潔な羽毛を生産する全自動精製ラインを無人化

国内最大規模の精製工場は、ITを活用し、1994年に羽毛精製ラインの完全無人化による24時間稼働を可能とした。精製工程では自社独自の除塵機を配備し、洗浄・乾燥後の再除塵に取組むなど、工程を工夫。徹底的な洗浄による高品質な羽毛の生産を実現している。また、羽毛ふとんの生産工程にもオートメーション化を取入れ、羽詰機を完全自動化。1979年の生産開始当時には生産量が100枚/8時間であったものが、2011年には2000枚/8時間と、20数年で生産量を20倍に伸ばしている。



自動化された生産設備

IT化・無人化と健康事業所宣言により働きやすさを実現

羽毛精製工程におけるIT化・無人化の実現により、生産工程に必要となる従業員数を削減。慢性的な人材不足を克服している。また、羽毛製品の解体作業に地域の障がい者就労支援施設を活用することで、障がい者の就労機会の創出にもつなげている。「健康経営優良法人」の認定を見据えて、平成30年6月1日に健康事業所宣言を実施。従業員の健康維持や増進、活力増強にも取り組んでいる。従業員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスに配慮し、労働環境を整え、働きやすい職場をつくっている。



本社兼明和工場の外観